

令和元年度定期作況報告

5月20日現在

道総研酪農試験場

I. 気象概況

前年11月から、本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

平成30年

11月：気温は上旬で高く、中旬でやや高く、下旬で平年並であった。降水量は上旬で平年並、中・下旬でやや少なかった。日照時間は全ての旬で平年並であった。

12月：気温は上旬で低く、中旬でやや低く、下旬で平年並であった。降水量は上・中旬でやや少なく、下旬で少なかった。日照時間は上・中旬で平年並、下旬でやや多かった。

平成31年

1月：気温は上旬でやや低く、中旬でやや高く、下旬で平年並であった。降水量は上旬でやや少なく、中旬で平年並、下旬でやや多かった。日照時間は上旬でやや多く、中旬で平年並、下旬でやや少なかった。

2月：気温は上旬で低く、中旬でやや低く、下旬で高かった。降水量は上・下旬で平年並、中旬でやや少なかった。日照時間は全ての旬で平年並であった。

3月：気温は上・中旬でやや高く、下旬でやや低かった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。日照時間は上旬でやや多く、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。

4月：気温は上旬でやや低く、中旬で高く、下旬で平年並であった。降水量は上・下旬で極めて少なく、中旬でやや多かった。日照時間は上・中旬で多く、下旬で平年並であった。

令和元年

5月上旬：最低気温は平年並であったが最高気温が高かったため、平均気温は9.5℃で平年より1.3℃高かった。降水量は55.5mmで平年より16.5mm多かった。日照時間は70.0時間で平年より15.3時間多かった。

5月中旬：最高および最低気温は17.6および5.9℃で、それぞれ平年よりも高かったため、平均気温は11.5℃で平年より2.9℃高かった。降水量は1.5mmで平年より38.4mm少なかった。日照時間は69.6時間で平年より13.1時間多かった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温は平年並、降水量はやや少なく、日照時間は平年並みであった。根雪始は早かったものの、最深積雪が浅く、土壌凍結は平年並であった。

季節調査

	平成30年			平成31・令和元年				
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日 土壌凍結深 (cm)	積雪 (cm)	根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
本年	10.18	12.7	61	21	46	4.8	4.27	5.6
平年	10.14	12.15	87	19	57	4.9	4.26	5.5
比較	4	△ 8	△ 26	2	△ 11	△ 1	1	1

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和元年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
H30	11	上旬	7.7	5.7	2.0	12.6	10.8	1.8	2.1	0.4	1.7	34.5	43.2	△ 8.7	1.0	3.7	△ 2.7	42.9	43.4	△ 0.5
		中旬	4.4	3.3	1.1	8.4	7.9	0.5	-0.2	-1.7	1.5	18.5	28.6	△ 10.1	4.0	3.7	0.3	45.0	48.4	△ 3.4
		下旬	-0.3	0.2	△ 0.5	4.1	5.0	△ 0.9	-5.8	-5.0	△ 0.8	5.0	22.3	△ 17.3	4.0	2.9	1.1	49.4	51.9	△ 2.5
	12	上旬	-3.2	-1.0	△ 2.2	2.4	3.6	△ 1.2	-9.9	-6.3	△ 3.6	31.0	44.7	△ 13.7	4.0	2.8	1.2	44.2	49.1	△ 4.9
		中旬	-4.6	-3.5	△ 1.1	0.9	1.1	△ 0.2	-11.3	-9.5	△ 1.8	4.0	20.6	△ 16.6	2.0	3.1	△ 1.1	57.4	52.2	5.2
		下旬	-4.2	-4.4	0.2	0.1	0.0	0.1	-9.8	-10.5	0.7	0.0	26.5	△ 26.5	0.0	3.7	△ 3.7	61.1	50.6	10.5
H31	1	上旬	-6.7	-5.4	△ 1.3	-1.9	-1.0	△ 0.9	-12.8	-11.1	△ 1.7	0.5	11.7	△ 11.2	1.0	2.7	△ 1.7	66.8	48.3	18.5
		中旬	-6.6	-7.6	-1.0	-1.7	-2.4	0.7	-12.3	-14.6	2.3	2.5	6.9	△ 4.4	1.0	1.6	△ 0.6	56.6	55.9	0.7
		下旬	-6.5	-6.9	0.4	-1.9	-1.6	△ 0.3	-13.0	-14.2	1.2	26.0	14.9	11.1	7.0	2.8	4.2	43.4	55.0	△ 11.6
	2	上旬	-9.1	-6.9	△ 2.2	-4.5	-2.1	△ 2.4	-15.6	-14.2	△ 1.4	12.0	9.8	2.2	3.0	2.7	0.3	59.5	58.9	0.6
		中旬	-7.5	-6.0	△ 1.5	-1.8	-1.2	△ 0.6	-14.2	-12.9	△ 1.3	0.0	13.4	△ 13.4	0.0	2.3	△ 2.3	62.2	53.4	8.8
		下旬	-3.4	-5.5	2.1	2.0	-0.3	2.3	-10.0	-13.2	3.2	3.5	9.3	△ 5.8	1.0	2.0	△ 1.0	44.9	51.5	△ 6.6
	3	上旬	-1.8	-3.4	1.6	3.0	1.0	2.0	-8.4	-9.7	1.3	0.0	36.8	△ 36.8	0.0	3.4	△ 3.4	70.2	51.6	18.6
		中旬	-0.1	-1.5	1.4	3.6	3.1	0.5	-4.2	-7.5	3.3	31.5	12.8	18.7	4.0	2.6	1.4	49.6	61.9	△ 12.3
		下旬	-1.7	-0.3	△ 1.4	2.3	4.2	△ 1.9	-6.1	-5.7	△ 0.4	9.5	12.2	△ 2.7	2.0	3.1	△ 1.1	70.8	66.6	4.2
	4	上旬	0.6	2.1	△ 1.5	5.1	6.7	△ 1.6	-4.3	-2.8	△ 1.5	1.5	36.7	△ 35.2	1.0	3.3	△ 2.3	75.8	55.7	20.1
		中旬	6.1	3.5	2.6	13.3	8.7	4.6	-0.1	-1.3	1.2	42.5	25.1	17.4	2.0	2.9	△ 0.9	77.7	56.1	21.6
		下旬	6.9	6.0	0.9	13.7	12.5	1.2	-0.2	0.1	△ 0.3	2.0	37.1	△ 35.1	2.0	3.2	△ 1.2	65.6	64.4	1.2
R1	5	上旬	9.5	8.2	1.3	16.3	14.2	2.1	3.3	2.9	0.4	55.5	39.0	16.5	5.0	3.9	1.1	70.0	54.7	15.3
		中旬	11.5	8.6	2.9	17.6	14.9	2.7	5.9	3.4	2.5	1.5	39.9	△ 38.4	1.0	4.2	△ 3.2	69.6	56.5	13.1

備考) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：－

事 由

耕鋤始は5月6日で平年より1日遅かったが、天候に恵まれ播種床造成作業は順調に進んだ。播種は平年より6日早い、5月17日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.17	5.23	△6
(ぱぴりか)	5.17	5.23	△6

- 注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
- 2) 平成 22 年度から供試品種を「たちぴりか」に変更した。作況の評価は「たちぴりか」で行っているが、本年は参考として「ぱぴりか」の値も掲載した。
- 3) 平年値は、「たちぴりか」・「ぱぴりか」ともに、前7カ年のうち最豊年の平成 26 年および最凶年の平成 28 年を除く 5 カ年の平均値である。
- 4) △は減を示す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1 番草 良

事由

最深積雪深は浅く、土壤凍結深は平年並、根雪終は平年よりも1日早く、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は平年よりも2年目草地および3年目草地で4日早かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で1.7ポイント、3年目草地で0.8ポイントそれぞれ少なかったことから総じて少ないと判断される。5月20日現在のチモシー草丈は、平年よりも2年目草地で21cm、3年目草地で18cm高かったことから総じて平年よりも高かった。

以上のことから、現時点での作況は良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4.21	4.25	△4	1.0	2.7	△1.7	53	32	21
「なつちから」3年目	TY単播	4.23	4.27	△4	2.0	2.8	△0.8	52	33	18
「ノサップ」2年目	TY単播	4.21	4.25	△4	1.0	1.8	△0.8	52	33	19
「ノサップ」3年目	TY単播	4.23	4.27	△4	2.0	2.5	△0.5	51	32	19

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平成30年度から供試品種を「ノサップ」から「なつちから」に変更した。作況の評価は「なつちから」で行っているが、本年は参考に「ノサップ」の値も掲載した。

3) 平年値は「なつちから」・「ノサップ」とともに、1番草を出穂始で収穫した平成25年～30年の6年間の平均値である。

4) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況：1 番草 良

事 由

最深積雪深は浅く、土壌凍結深は平年並、根雪終は平年よりも1日早く、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は2年目草地で平年よりも4日早く、3年目草地で「オカミドリ」の平年より1日早かった。冬損状態は2年目草地で平年よりも0.8多く、3年目草地で「オカミドリ」の平年より3.8少なかったことから総じてやや少ないと判断される。5月20日現在の草丈は、2年目草地で47cm（平年値は37cm）、3年目草地で40cm（「オカミドリ」3年目の平年値は22cm）であったことから総じて高かったと判断される。

以上のことから、現時点での作況は良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	4.22	4.26	△4	2.0	1.2	0.8	47	37	10
「ハルジマン」3年目	OG単播	4.23	—	—	1.0	—	—	40	26	14
「オカミドリ」3年目	OG単播	—	4.24	—	—	4.8	—	—	22	—

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 「ハルジマン」2年目の平年値は平成26年～30年の5年間の平均値。

3) 平成25年播種から供試品種を「オカミドリ」から「ハルジマン」へ変更した。「ハルジマン」の3年目平年値はないため、参考として下段に以前供試していた「オカミドリ」の平年値（平成18年～24年のうち、最凶年（2年目草地、3年目草地とも平成21年）と最豊年（2年目草地、3年目草地とも平成22年）を除く5ヶ年平均値）を掲載した。

4) △は減を示す。

令和元年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	施 肥 量 (kg/10a)						栽植様式
		堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
1. サイレージ用								畦間72cm
とうもろこし	11.5	4,000	300	8+4	23	14	3	株間18cm
「たちぴりか」								7,716本/10a
2. 牧 草								
(1) 採草型								
TY「なつちから」	9.6	4,000	300	10	23	14	6	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2) 放牧型								
OG「ハルジマン」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	2.0kg/10a

- 1) サイレージ用とうもろこしは、適応性検定試験の圃場。
- 2) 牧草は、2, 3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。
- 3) TY：チモシー、OG：オーチャードグラス。
- 4) 牧草の施肥量は、上段が造成年（1年目）、下段が2, 3年目草地を示す。